



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 エレコム株式会社

上場取引所 東

コード番号 6750 URL <http://www.elecom.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 葉田順治

問合せ先責任者 (役職名) 業務統括部 部長代理 (氏名) 中島洋 TEL 06-6229-1418

四半期報告書提出予定日 2020年11月5日 配当支払開始予定日 2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	50,782	3.3	7,939	14.6	7,582	14.0	5,232	15.0
2020年3月期第2四半期	49,164	5.1	6,927	13.5	6,652	16.5	4,549	18.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 4,831百万円 (19.4%) 2020年3月期第2四半期 4,046百万円 (26.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	117.47	116.80
2020年3月期第2四半期	106.09	105.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	95,402	71,284	74.4	1,562.41
2020年3月期	84,337	60,401	71.3	1,371.81

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 70,988百万円 2020年3月期 60,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		31.00	61.00
2021年3月期		33.00			
2021年3月期(予想)				33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	4.1	14,800	4.8	14,200	4.4	9,880	1.8	225.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	46,110,710 株	2020年3月期	44,524,110 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	675,231 株	2020年3月期	679,345 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	44,543,208 株	2020年3月期2Q	42,882,146 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

なお、決算説明資料は2020年11月5日付で当社ホームページ(<http://www.elecom.co.jp/ir/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言が発令され、社会・経済活動が急速に停滞し、極めて厳しい状況となりました。段階的な経済活動の再開によって回復の兆しがみられるものの、国内外ともに経済の下振れリスクを内包した状況で推移しました。

当社グループの事業とかかわりの深いパソコン及びデジタル機器業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、家電量販店等の営業自粛は解消され、法人チャンネルでの展示会も再開されつつある状況です。一方で、テレワークの普及によりパソコン関連機器の需要は引き続き高い状況となっております。

このような環境の中、当社グループは、「“ライフスタイル・イノベーション”ービジネスライフやホームライフにおいて、より快適で豊かな新しい価値を創造し、お客様に喜びを届ける」というスローガンを掲げ、従来のパソコン・デジタル関連製品にエンベデッド、ヘルスケア・医療、VRなどの新領域の製品を拡充した幅広い分野で付加価値の高い新製品を投入し、積極的な需要の喚起を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク需要の拡大に対応した商品調達・販売戦略の推進に取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は50,782百万円（前年同四半期比3.3%増）となり、営業利益は7,939百万円（前年同四半期比14.6%増）、経常利益は7,582百万円（前年同四半期比14.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,232百万円（前年同四半期比15.0%増）となりました。

品目別の概況は、次のとおりであります。なお、当社グループはパソコン及びデジタル機器関連製品の開発・製造・販売の単一セグメントであるため、商品区分である品目別で概況を記載しております。

(パソコン関連)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うテレワークの普及により、パソコン関連機器の需要が高まった結果、パソコン関連に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は、16,059百万円（前年同四半期比28.5%増）となりました。

(スマートフォン・タブレット関連)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛等の影響により需要が減退したことに加え、新型iPhoneの発売が10月に延期となった結果、スマートフォン・タブレット関連に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,057百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。

(TV・AV関連)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うテレワークの普及により、ヘッドセット等のAV関連機器の需要が高まった結果、TV・AV関連に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,183百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

(周辺機器)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛等の影響により需要が減退した結果、周辺機器に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は、12,491百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

(その他)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、除菌関連等のヘルスケア製品の需要が高まったほか、GIGAスクール関連製品の需要が高まった結果、その他に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,990百万円（前年同四半期比17.2%増）となりました。

〔品目別連結売上高実績〕

(単位：百万円、%)

品目区分	2020年3月期第2四半期		2021年3月期第2四半期		前期比 増減率
	金額	百分比	金額	百分比	
パソコン関連	12,496	25.4	16,059	31.6	28.5
スマートフォン・タブレット関連	10,220	20.8	8,057	15.9	△21.2
TV・AV関連	9,070	18.5	10,183	20.0	12.3
周辺機器	13,970	28.4	12,491	24.6	△10.6
その他	3,405	6.9	3,990	7.9	17.2
合計	49,164	100.0	50,782	100.0	3.3

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ11,065百万円増加し、負債は182百万円増加、純資産は10,882百万円増加となりました。

総資産の主たる増加要因は、受取手形及び売掛金が1,011百万円減少した一方で、現金及び預金が7,165百万円、商品及び製品が2,493百万円増加したことによるものです。負債の主たる増加要因は、未払法人税等が1,160百万円、賞与引当金が341百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が2,210百万円増加したことによるものです。純資産の主たる増加要因は、利益剰余金の増加や新株予約権の行使による株式の発行により、株主資本が11,241百万円増加したこと等によるものです。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動の結果増加した資金は4,553百万円（前年同四半期は4,481百万円の増加）、投資活動の結果減少した資金は3,244百万円（前年同四半期は1,629百万円の減少）、財務活動の結果増加した資金は5,951百万円（前年同四半期は1,059百万円の減少）となり、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ7,165百万円増加し、44,531百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年6月5日付「2021年3月期連結業績予想および配当予想の公表に関するお知らせ」において公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,365	44,531
受取手形及び売掛金	18,365	17,354
有価証券	7,186	9,097
商品及び製品	8,181	10,675
仕掛品	180	245
原材料及び貯蔵品	1,304	1,630
その他	1,657	936
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	74,240	84,468
固定資産		
有形固定資産	4,718	5,104
無形固定資産	1,319	1,370
投資その他の資産	4,059	4,460
固定資産合計	10,097	10,934
資産合計	84,337	95,402
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,323	11,533
電子記録債務	2,977	3,003
短期借入金	500	500
未払法人税等	2,433	1,273
売上値引等引当金	1,065	972
返品調整引当金	418	427
賞与引当金	1,317	975
その他の引当金	132	135
その他	3,923	3,427
流動負債合計	22,091	22,249
固定負債		
退職給付に係る負債	1,539	1,594
その他の引当金	12	14
その他	292	259
固定負債合計	1,844	1,868
負債合計	23,936	24,118

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,904	12,577
資本剰余金	8,958	12,643
利益剰余金	42,708	46,581
自己株式	△1,602	△1,593
株主資本合計	58,968	70,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	488
繰延ヘッジ損益	752	211
為替換算調整勘定	193	103
退職給付に係る調整累計額	△34	△25
その他の包括利益累計額合計	1,178	778
新株予約権	247	289
非支配株主持分	7	6
純資産合計	60,401	71,284
負債純資産合計	84,337	95,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	49,164	50,782
売上原価	30,027	30,558
売上総利益	19,136	20,223
返品調整引当金繰入額	—	8
返品調整引当金戻入額	59	—
差引売上総利益	19,195	20,214
販売費及び一般管理費	12,268	12,274
営業利益	6,927	7,939
営業外収益		
受取利息	81	18
受取配当金	20	25
仕入割引	1	3
受取保険金	9	0
その他	39	31
営業外収益合計	152	79
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	355	388
為替差損	56	14
その他	13	33
営業外費用合計	426	436
経常利益	6,652	7,582
特別利益		
投資有価証券売却益	4	0
新株予約権戻入益	6	—
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産除却損	24	9
投資有価証券評価損	54	—
特別損失合計	79	9
税金等調整前四半期純利益	6,584	7,573
法人税、住民税及び事業税	2,014	2,210
法人税等調整額	21	131
法人税等合計	2,035	2,342
四半期純利益	4,548	5,231
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,549	5,232

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	4,548	5,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	222
繰延ヘッジ損益	△381	△540
為替換算調整勘定	△88	△90
退職給付に係る調整額	4	8
その他の包括利益合計	△501	△399
四半期包括利益	4,046	4,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,047	4,832
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,584	7,573
減価償却費	955	844
受取利息及び受取配当金	△101	△44
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	140	894
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△696	△2,890
仕入債務の増減額 (△は減少)	250	2,414
引当金の増減額 (△は減少)	△164	△365
その他	△575	△410
小計	6,393	8,017
利息及び配当金の受取額	101	44
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△2,012	△3,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,481	4,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△762	△2,127
有形固定資産の取得による支出	△729	△624
無形固定資産の取得による支出	△127	△367
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
その他	0	△114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,629	△3,244
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,199	△1,359
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	7,311
自己株式の処分による収入	140	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,059	5,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	△108	△93
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,683	7,165
現金及び現金同等物の期首残高	26,356	37,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,040	44,531

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において新株予約権の行使により、資本金が3,673百万円、資本準備金が3,673百万円増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が12,577百万円、資本準備金が12,548百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や収束時期等を含む会計上の見積りの仮定について、当第2四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

当社グループの事業は、パソコン及びデジタル機器関連製品の開発・製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

当社グループの事業は、パソコン及びデジタル機器関連製品の開発・製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。